

# 愛媛県の地震

2021年（令和3年）10月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（10月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（10月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（10月）	3
5. 地震一口メモ 降灰予報について	4

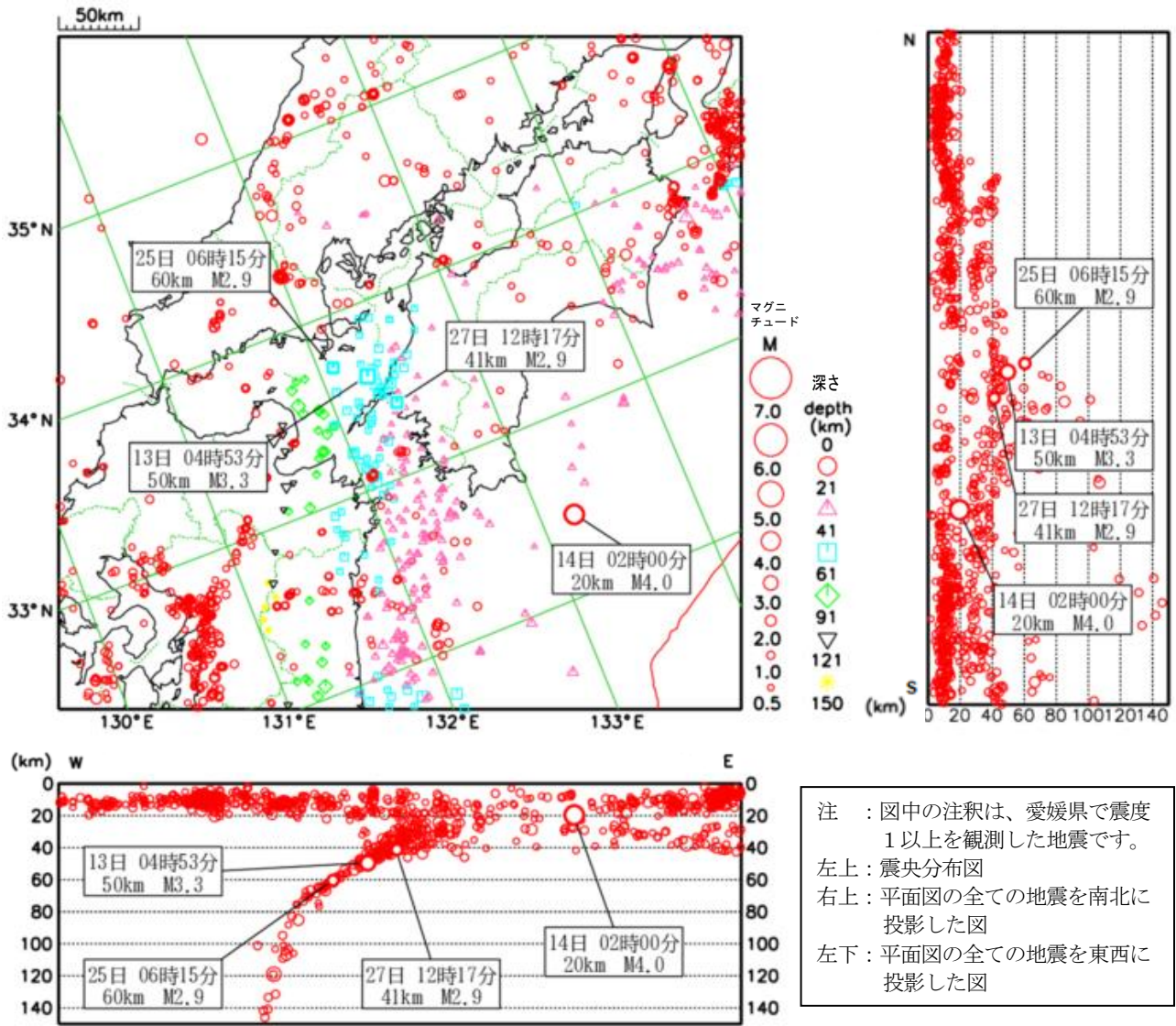
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

# 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2021年10月1日~10月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

## 2. 地震概況（10月）

上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は40回（先月は44回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は4回（先月は1回）でした。

13日04時53分 伊予灘の地震（深さ50km、M3.3）により、愛媛県大洲市で震度1を観測したほか、山口県で震度1を観測しました。

14日02時00分 四国沖の地震（深さ20km、M4.0）により、愛媛県愛南町で震度1を観測したほか、高知県で震度2～1を観測しました。

25日06時15分 伊予灘の地震（深さ60km、M2.9）により、愛媛県八幡浜市で震度1を観測しました。

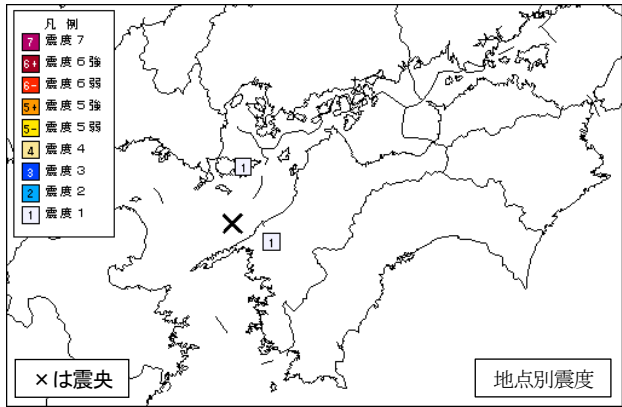
27日12時17分 愛媛県南予の地震（深さ41km、M2.9）により、愛媛県宇和島市・西予市で震度1を観測しました。

### 3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（10月）

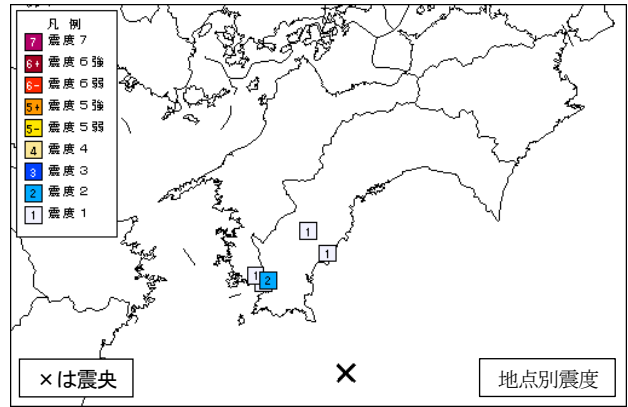
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2021年10月13日04時53分	伊予灘	33° 35.9' N	132° 17.4' E	50km	M3.3	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：大洲市大洲*						
-----						
2021年10月14日02時00分	四国沖	32° 26.6' N	133° 13.1' E	20km	M4.0	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：愛南町一本松*						
-----						
2021年10月25日06時15分	伊予灘	33° 42.9' N	132° 05.8' E	60km	M2.9	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：八幡浜市五反田*						
-----						
2021年10月27日12時17分	愛媛県南予	33° 24.1' N	132° 24.4' E	41km	M2.9	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：宇和島市三間町*, 西予市明浜町*						

注：\*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

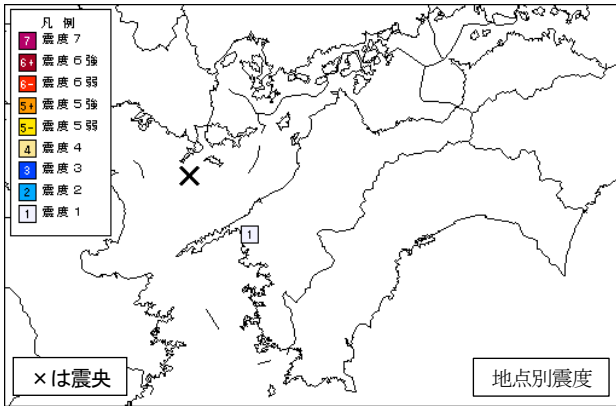
#### 4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（10月）



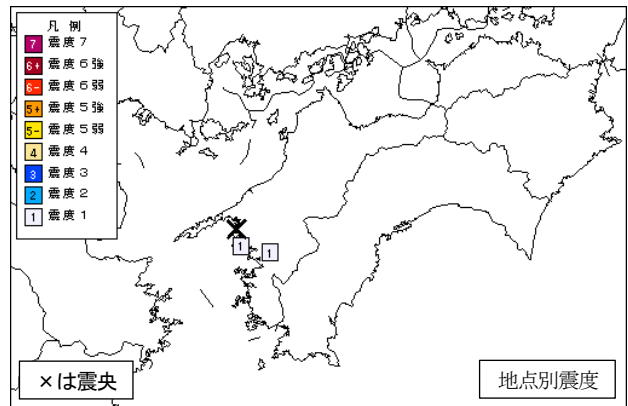
10月13日 04時53分 伊予灘



10月14日 02時00分 四国沖



10月25日 06時15分 伊予灘



10月27日 12時17分 愛媛県南予

## 5. 地震一口メモ

### 降灰予報について

火山噴火に伴い空から降ってくる火山灰（降灰）は、その量に応じて様々な被害をもたらします。そのため、気象庁は平成20年に降灰予報の運用を開始し、平成27年3月からは現在の降灰予報となっています。現在の降灰予報は、降灰予報（定時）、降灰予報（速報）、降灰予報（詳細）の3種類があります。

#### ① 降灰予報（定時）

- ・噴火警報発表中の火山で、噴火により人々の生活等に影響を及ぼす降灰が予想される場合に、定期的（3時間ごと）に発表。
- ・18時間先（3時間区切り）までに噴火した場合に予想される降灰範囲や小さな噴石の落下範囲を提供。

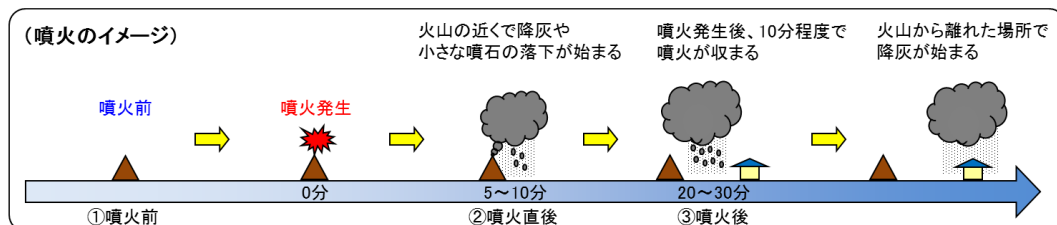
#### ② 降灰予報（速報）

- ・噴火の発生を通報する「噴火に関する火山観測報」を受けて発表。
- ・噴火が発生した火山に対して、事前計算した降灰予報結果の中から最適なものを抽出して、噴火発生後5～10分程度で発表。
- ・噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を提供。

#### ③ 降灰予報（詳細）

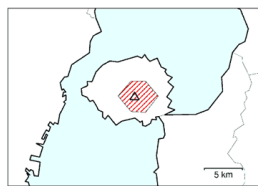
- ・降灰予報（速報）を発表した場合には、予想降灰量によらず発表。
- ・噴火が発生した火山に対して、降灰予報計算（数値シミュレーション計算）を行い、噴火発生後20～30分程度で発表。
- ・噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布や降灰開始時刻を提供。

また、降灰が始まるまでの流れは、下図のとおりです。



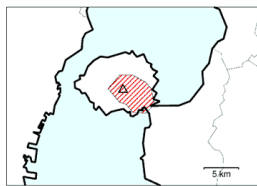
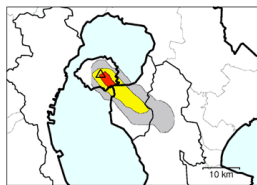
#### ①降灰予報(定時)

噴火の可能性が高い火山に対して、想定した噴煙高を用いて、18時間先までに噴火が発生した場合の降灰範囲や小さな噴石の落下範囲を計算し、定期的に発表します



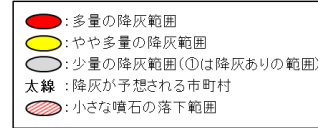
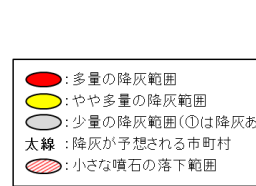
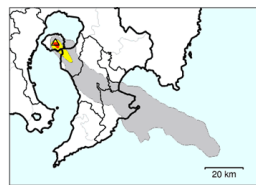
#### ②降灰予報(速報)

噴火発生直後、事前に計算した想定噴火のうち最も適当なものを抽出し、1時間以内の降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を、噴火後5～10分程度で速やかに発表します



#### ③降灰予報(詳細)

噴火発生後、観測した噴煙高を用いて、精度の良い降灰量分布や降灰開始時刻を計算し、6時間先までの詳細な予報を、噴火後20～30分程度で発表します



降灰予報は、気象庁ホームページで提供するほか、テレビやラジオを通じてお伝えします。用途に合わせて活用していただくことで、被害の予防もしくは軽減につなげることができます。

降灰予報については、気象庁ホームページをご覧ください。URLは以下のとおりです。

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/qvaf/qvaf\\_guide.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/qvaf/qvaf_guide.html)